

取手市と語りあおう

市民と 議員との 意見 交換会

オンライン(Zoom)
取手市役所議会棟
戸頭公民館
藤代公民館

開催場所

参加方法

《対面での参加》
事前登録は任意
直接会場にお越しください
※事前登録のご協力をお願いいたします。

《オンライン参加》
事前登録**必須**
※左の二次元コードから
締切:5月7日(木)正午

5月9日(土)
10:00~12:00
開催



宮和田小学校6年生との協働事業 ～めざせ！取手市の人口9万人キープ～

令和7年7月1日、10月6日、令和8年2月20日の3日間にわたって、宮和田小学校と市議会の協働事業を行いました。19グループに分かれた6年生が、住み続けられるまちづくりをテーマに、2040年に取手市の人口9万人を維持するためのプランの作成について、1年間を通して取り組みました。議員やゲストティーチャーからのアドバイスや、夏休みに提案内容の実践・調査を行いブラッシュアップを図るなど、本格的かつ活発な研究が行われました。最終日の令和8年2月20日の発表会では、環境美化や地域の活性化など、様々な視点からの人口維持策について、児童と議員が意見を交わしました。

令和8年2月20日
発表会の様子

令和7年10月6日
出前授業の様子



討論

第1回定例会で審議された議案に対する議員の討論の概要をお伝えいたします。議案には市長が提出するものと、議員や委員会が提出するものがあります。

令和8年度当初予算

令和8年度一般会計予算…可決

〔内容〕とりで未来創造プラン2024の3年目に当たり、こどもまんなか社会の実現に特に重点を置きつつ、プランに掲げる6つの政策の重点事業の効果の発現を目指した予算編成。歳入歳出予算額は499億1,000万円。

加増議員…反対

物価高騰で暮らしと営業が深刻化する中、暮らしと健康第一の予算が求められる。中小企業支援拡大、食と農を守る米の増産への農政の転換が必要。また、桑原開発や西口開発は行き詰まっており、これ以上の税金の無駄遣いはやめるべき。住まいは人権・福祉の立場で住宅政策の確立が急務。中学校給食の無償化も待たれる。安心して住み続けられる取手となっているかが問われる。

入江議員…賛成

見守りおむつ定期便事業や産婦人科・小児科オンライン相談、母子健康手帳アプリ機能拡充事業は、安心して子どもを産み育てられる環境の整備や若い世代に選ばれる町となるための施策。市長が言う、こどもまんなか社会の実現に向けた投資が着実に反映されている。本予算は、物価高騰や人口減少の情勢下でも、限られた財源の中で行財政運営の継続性に配慮し、市民の暮らしを守り将来に希望をつなぐ、現実的かつ前向きなもの。

佐藤議員…賛成

スマホ市役所、産婦人科医・小児科医・助産師によるオンライン相談、子育てアプリToriCo(トリコ)の機能拡充、生成AI英語学習アプリ、生成AI搭載型ロボットを使ったプログラミング教育などのデジタル技術の活用など、健全な財政運営を維持し、持続可能な自治体運営に向けた取り組みを進めるほか、こどもまんなか社会の実現と市長の挑戦していく姿勢が予算に反映されている点を高く評価。

落合議員…賛成

厳しい財政状況に向き合いながら、市民の安全安心を堅持しつつ、こどもまんなかの理念の下で、未来への投資が盛り込まれた予算。特に、見守りおむつ定期便事業は、育児中のかたを孤立させないという力強い姿勢を感じる。また、生成AI英語学習アプリ、英語エキスパート育成プロジェクトなど質の高い英語教育により、全ての児童生徒の未来を切り開く学力が育まれることを期待する。

長塚議員…賛成

産婦人科医等の24時間対応のオンライン相談事業は、子育て世代の不安軽減と安心感の向上に資する取り組み。また、放課後子どもクラブのオンライン申請・入退室管理システム、5歳児健診、見守りおむつ定期便などに加え、こども・若者まんなか応援サイトの開設や公園の充実が進められ、必要な支援や環境にアクセスしやすい体制が整えられている点を評価。

根岸議員…賛成

この予算は、市民生活の安全安心と未来への投資をバランスよく両立させている。特に見守りおむつ定期便事業、ICTを活用した産婦人科・小児科オンライン相談事業は、こどもまんなか社会の実現に向けた大きな一歩。市民が安心して利用できる施設環境の整備など、市民の声や現場の課題を丁寧に反映し、財政規律を保って必要な投資を行っている点も評価。

岡口議員…賛成

ALT全校配置や生成AIロボット導入など未来を担う子どもたちへの投資は市の将来を支える重要な取り組み。また、取手駅周辺整備、子育て支援・医療福祉の充実、インフラ整備など市民生活に直結する施策も幅広く盛り込まれており、市民の暮らしの向上と持続的発展につながることを期待。

〔解説〕ALTとは、外国語指導助手のことです。

佐野議員…賛成

社会保障関係経費の増加や物価高騰など厳しい環境下でも、市民生活を支える行政運営を維持しつつ新たな事業が編成されており、大変意義がある。乳児家庭への訪問と子育て用品の提供を組み合わせた家庭に寄り添う支援の充実は今後の展開に期待する。双葉第2ポンプ場の改修は、市民生活の安全を守る観点から、着実に進めてほしい。

令和8年度競輪事業特別会計予算…可決

本田議員…反対

自治体の使命は、市民の健康で文化的な生活を保障することにあり、射幸心をあおることで財源を得ることは、本来あるべき地方自治の姿にそぐわない。また競輪事業の収益は不安定であり、その裏側の依存症や生活破綻に苦しむ人々の不幸の上に成り立つ収益を当てにした財政運営は不適切。

染谷議員…賛成

競輪事業の収益は、地域住民の生活向上や公共サービスの充実に活用されている。災害支援活動や教育文化活動の支援などの社会貢献も行い、ギャンブル依存症対策にも取り組んでいる。取手競輪場は、スポーツの発展、社会貢献、税収の面から市にとって必要。

根岸議員…反対

競輪事業が財政に貢献しているのは事実だが、ギャンブルをすることを容易にし、依存症のリスクを高める。依存症は本人の生活破綻にとどまらず、家族の崩壊、多重債務等の深刻な問題を引き起こす。自治体が公営ギャンブル事業を運営することは倫理的に問題がある。



楽天Kドリームスバンク取手で行われた「自転車乗り方教室」(楽天Kドリームスバンク取手のHPより)

市長提出議案

職員の育児休業等に関する条例の一部改正…可決

〔内容〕育児休業等の取得方式を拡充し、職員が育児と仕事を両立できる働き方を実現

根岸議員…賛成

子育て中の女性職員が、家庭との両立が難しく昇格を諦めることが多い現状がある。誰もが働きやすい職場づくりを職員の努力や善意に頼るのではなく、条例で制度化することに意義がある。条例改正の積み重ねによって、働きやすい職場づくりや優秀な人材の確保につながり、市民サービスの向上に結びつく。

久保田議員…賛成

自治体が先頭に立ち、子育てしやすい環境を整えることは、ワーク・ライフ・バランス重視の姿勢を示す地域社会への強力なメッセージになる。柔軟な働き方ができる職場環境の整備は、若手人材の確保や離職防止において選ばれる自治体の必須条件。この条例改正は市の活力ある未来と職員の幸福に寄与する。

委員会提出議案

アメリカ・イスラエルのイラン攻撃を即時中止し、外交努力による平和的解決を求める意見書…可決 (提出者…議会運営委員会 金澤委員長)

〔内容〕日本政府がアメリカとイスラエルに対し、国連憲章と国際法の原則に立ち帰り、武力攻撃を中止し、外交努力により平和的に解決するよう働きかけることを取手市議会として求めるもの

佐野議員…賛成

中東情勢の緊張の高まりは、武力の応酬が連鎖し、兵士だけでなく民間人への被害を拡大させ、日本経済にも原油市場の不安定化などを通じて影響が及んでいる。市民生活に直結するエネルギーや経済への影響が生じており、国際社会が共有してきた平和的解決の原則に立ち返るよう求めることは、議会として果たすべき責任である。

本田議員…賛成

国際法の原則と平和主義を掲げる日本は、戦争の拡大を防ぎ、対話を促す立場を明確に示すべきである。取手市は、非核兵器平和都市宣言をはじめ様々な平和的な取り組みを進めており、取手市議会として、外交による平和的な解決を求める意見書を提出する意義は大きい。

根岸議員…賛成

社会をよりよくするためには、市民が自分で考え、自分で行動することが不可欠。市民が世界の動きを知り、自らの判断で意見を持ち、声を上げることができる社会を育てる必要がある。その起点がこの取手市議会である。議会が意見書を通じて国に平和的解決を求める明確な姿勢を示すことが、市民の主体性を育てる大切な一歩である。

赤羽議員の会議中における不適切行為

赤羽直一議員が令和8年3月19日の市議会定例会本会議中にスマートフォンでゲームを行っていました。このことについて、赤羽議員から市民の皆さまへの謝罪を掲載するとともに、議会としての対応を報告します。

事実判明までの経過

令和8年3月19日、市議会定例会本会議における議案の表決中、赤羽議員は私物のスマートフォンを机の下に隠してゲームを行っていました。同日夜、赤羽議員が本会議中にスマートフォンでゲームをしていたとの情報が、議会事務局に複数寄せられました。この情報提供を受け、3月26日に山野井議長が赤羽議員に聞き取りおよび事実確認を行ったところ、赤羽議員は本会議中にスマートフォンでゲームをしていたことを認めました。

議長からの嚴重注意

事実を重く見た山野井議長は、赤羽議員に口頭および書面で嚴重注意を行い、次の3点を求めました。
1 自身の行為を深く反省すること。
2 市民に説明し、誠心誠意の謝罪をすること。
3 地方自治法はじめ法令を遵守すること。



赤羽議員からの謝罪

このたび、重要な会議中にはいけないことをしてしまいました。私の軽率な行動が、市民の皆様、議員の皆様、そして議会に対して非常にご迷惑をおかけしてしまいました。心よりお詫びを申し上げます。

今後、このようなことを二度と起こさない決意で、さらに自己研さんを重ね、市民の皆様にお役に立つような行動を通して、お詫びをしていきたいと思っております。大変申し訳ございませんでした。



議会としての対応

令和8年3月30日、議会運営委員会が開かれました。議会事務局から事実経過を説明した後、赤羽委員からの謝罪がありました。質疑応答では、赤羽委員から、議会のYouTubeを通じてお詫びをするとともに、市民の皆様には市民との意見交換会など機会あるごとにお詫びをしたい旨の発言がありました。その後、議会として再発防止策を検討し、会議中のスマートフォン・タブレット・パソコンの使用について、禁止事項を会議規則に明確に規定することを決定しました。また、議会運営委員長から、傍聴席における撮影・録音・録画の自由化について提案があり、今後検討していくことになりました。

◆各議員の一般質問については、[市の議会報ホームページをご覧ください。](#)

市議会だより「ひびき」

検索



取手市議会だより「ひびき」第260号
(令和8年5月1日発行) 一般質問ページへの二次元コード

